

一九九八年四月二十五日
発行



第81卷 第3号 史学・地理学・考古学

論 説

- 牒・告書・下文川 端 新 (1)
——莊園制の文書体系の成立まで——
立憲王政下フランスにおけるイエズス会神話上 垣 豊 (41)
——モンロジエからミシュレまで——
近代英国における海難対策の形成金 澤 周 作 (77)
——レッセ・フェールの社会的条件——

研究ノート

- 「蔵人式」と「蔵人所例」の再検討西 本 昌 弘 (108)
——『新撰年中行事』所引の「蔵人式」新出逸文をめぐって——
江戸幕府前期の「御用」について藤 井 讓 治 (128)

書 評

- 元木泰雄著『院政期政治史研究』高 橋 秀 樹 (145)

紹 介

- アントニオ・ダ・クレマ著 (ガブリエーレ・ノリ編) 『一四八六年の聖地巡礼記』
(Antonio da Crema, *Itinerario al Santo Sepolero 1486*, a cura di Gabriele Nori)
(高田京比子)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

受贈図書

(一九九七年一月六日)
一九九八年一月六日)

- 立命館産業社会論集(立命館大学産業社会学会) 三三三—二
増谷文庫目録(三康文化研究所) 平成九年
韓国史研究彙報(国史編纂委員会) 九八
西伯(西伯社) 三
福岡大学人文論叢(福岡大学総合研究所) 二九—二
立命館史学(立命館史学会) 一八
一橋論叢(一橋大学一橋学会) 一一八—
五・六、一一九—
福建師範大学学報(福建師範大学) 一九九
七—二・三
駁台史学(駁台史学会) 一〇—
経営学論集(龍谷大学経営学会) 三七—
一・二
考古人類学刊(国立台湾大学文学院) 五二
アジア研究所所報(亜細亜大学アジア研究
所) 八八
一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委
員会) 二二—三
史遊(京都教育大学歴史・地理学研究会)

六

青丘學術論集(財) 韓国文化研究振興財

團) 一一

- 古代史研究(古代史研究会) 一五
研究紀要(新潟県立文書館) 四
同朋大学論叢(同朋学会) 七六
鹿兒島経大論集(鹿兒島経済大学経済学
会) 三八—二
立命館文学(立命館大学人文学会) 五五—
文学会志(山口大学文学会) 四八
大美和(大神神社社務所) 九四
日本学士院紀要(日本学士院) 五二—一
人文地理(人文地理学会) 四九—五
人文学(同志社大学人文学会) 一六—二
南方文化(天理南方文化研究会) 二四
神道史研究(神道史学会) 四五—四
東方学会報(東方学会) 七三
清代閩粵鄉族性衝突之研究(国立台湾師範
大学歴史研究所) 二七
歴史学報(国立台湾師範大学) 二五
平城宮発掘調査出土木簡概報(奈良国立文
化財研究所) 三三
女子短期大学部紀要(札幌大学) 三〇
札幌大学総合論叢(札幌大学) 四

「史林」投稿規定

- ◇資格 本会会員であること。
◇投稿受付原稿の種類、長さ
○論説 四〇〇字詰八〇枚以内
○研究ノート 四〇〇字詰五〇枚以内
○研究動向 四〇〇字詰五〇枚以内
○書評 四〇〇字詰二〇枚以内
○紹介 四〇〇字詰三枚程度
◇論説には四〇〇字以内の「要約」と「欧
文要約」を添付のこと。
◇研究ノート・研究動向・書評には、「欧
文タイトル」のみ添付のこと。
◇注は各章末に入れること。
◇ワープロ原稿の場合には、フロッピー
(MS-DOSのテキストファイル、機種
を明記する)を添付のこと。
送り先 史林編集委員会
〒606-8502 京都市左京区吉田本町
御注意
図表、あるいは特殊活字を掲載する場合
には、その印刷経費の一部を負担してい
ただくことがあります。

『史林』 図版投稿規定

図版の掲載を希望される場合、編集委員
会では印刷用図版の作成を一件につき五、
〇〇〇円で請け負っております。投稿者自
身で作成される場合は以下の事項にご留意
ください。また、投稿された図版に不備の
ある場合は投稿者に修正を要求するか、編
集委員会が修正いたします。但し、この際
の経費は投稿者に負担していただきます。

◇図を作成する際、トレーシングペーパー
や製図用ケント紙などに、製図用インキ
を用いて明瞭に描くこと。線の太さを一
定に保つために製図用ペンを使用するこ
とが望ましい。

また、できる限り刷り上がり予定寸法
の二倍程度（面積では四倍）で描き、希
望縮小率を示すこと。

◇図中の文字は写真植字を用いて印刷する
ので、鉛筆書きにするか、もう一枚ト
レーシングペーパーを重ね該当箇所に文
字のみ書き入れること。

なお、インスタントレタリングやタイ
プ・ワープロ文字を用いる場合には原図
に直接貼り付けること。この場合は仕上

がり段階での鮮明度に注意すること。

◇写真の場合は写真原版が十分鮮明で明暗
のコントラストが明瞭なものであること。
刷り上がり予定寸法の一―二倍程度の版
が望ましく、希望縮小率を示すこと（巻
頭にアート紙を用いて掲載することを希
望される場合は、割付・仕上がり等につ
いては編集委員会で調整します。また、
掲載に関わる経費が投稿者負担になるこ
とがあります）。

コピーされた図も十分鮮明なものであ
ること。不鮮明な部分がある場合は、掲
載の主旨を損ねない程度に修正を加えて
おくこと。

◇表については、刷り上がり前の段階を考え
て大きさ・表現方法に留意すること。投
稿された表そのものの掲載を希望される
場合は、その旨を明記し、図に準じた体
裁を整えること。

◇本文中に図表の割付箇所を明記すること。

編集後記

本号は日本史・西洋史の二本立てとなり
ましたが、力作をそろえることができまし
た。私は今回初めて編集担当になりました、
とまどうことも多かったです。出来映
えはどうでしょうか。あとは皆さまのお手
元に一日も早く届くことを願うのみです。
今年はエルニーニョ現象とやらで、春先
から暑い日が続いて少し辟易気味です。本
号完成の頃にはどんな空模様になっている
のでしょうか。（さ）

本誌には文部省科学研究費補助金研究
成果公開促進費が交付されております。

一九九八年四月二五日印刷 定価二二〇〇円
一九九八年五月一日発行 送料六〇円

史林 第八一巻第三号（通巻第四〇九号）

発行人 史学研究会

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

振替京都〇一七〇二二五二五五番

理事長 間野英二

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽菜田二九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXXI No. 3

May 1998

CONTENTS

Articles :

- KAWABATA Shin : Towards the Systematization of Shoen-related Documents (1)
- UEGAKI Yutaka : Le mythe jésuite sous la monarchie constitutionnelle : De Montlosier à Michelet (41)
- KANAZAWA Shusaku : The Formation of Policy for the Preservation of Life and Property from Shipwrecks
—The Social Conditions of 'Laissez-faire'— (77)

Notes :

- NISHIMOTO Masahiro : A Re-examination of “Kurodo-shiki 藏人式”
and “Kurododokoro-rei 藏人所例”
—The recently discovered “Kurodo-shiki” of the “Shinsen-nentyugyozi 新撰年中行事”— (108)
- FUJII Joji : Concerning the “Goyo 御用” of the Eary Edo Bakufu (128)

Book Reviews :

- MOTOKI Yasuo : Research on the Political History of the Insei 院政 Period (TAKAHASHI Hideki) (145)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369